

資金不足比率計算書

参考資料 2

(算式)

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

(説明)

(単位：千円)

下水道事業会計		R4年度 A	R3年度 B	増減 (A-B)
資金の不足(剰余)額 ※差引 負の数値は不足額 正の数値は剰余額	流動負債の額 a	289,003	358,321	-69,318
	流動資産の額 b	569,745	678,043	-108,298
	差引 (b-a)	280,742	319,722	-38,980
事業の規模	営業収益の額 c	1,236,731	1,218,166	18,565
	受託工事収益の額 d	0	0	0
	差引 (c-d)	1,236,731	1,218,166	18,565
資金不足比率 (%) (資金不足比率は、正の数値とする)		-22.7	-26.2	3.5
経営健全化基準 (%)		20.0	20.0	

(備考) 事業の規模は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第17条第1号の規定に基づき算定しています。